

1998年度構造研総会報告

構造地質研究会事務局 金川久一（千葉大学）

1998年12月22日@京都大学理学部

出席者35名+委任状94名

議事に先立ち、議長に大藤 茂氏（富山大）、書記に堤昭人氏（機械技研）が選出された。

【1998年度活動報告】

以下の活動報告が承認された。

- ・地質学論集第50号（構造地質特別号）『21世紀の構造地質学にむけて』発刊（7月末）：構造研で550部買い取り、会員に配布（8月中旬）
- ・名簿カード+会費納入状況印刷振込用紙の送付（8月中旬）
- ・夏の例会＝第1回日韓構造地質合同大会@ソウル国立大（8/25）+太白山地域巡検（8/26-28）：参加者日本側16名、韓国側約40名
- ・秋の例会＝地質学会夜間小集会（9/26）：松島信幸氏の特別講演「赤石山地から伊那谷までの50年」+オープン拡大事務局会議（構造研の今後の活動、特に会誌の編集方針に関する意見交換）
- ・冬の例会：12/21-22@京大理学部
- ・構造研ニュース4回発送
- ・名簿カードの回収状況（11/30現在）：246名
- ・研究グループ登録状況（11/30現在）：基礎構造（68/75）、日本テクトニクス（90/105）、地殻探査（40/45）、地震地質（65/76）、地惑テクトニクス（14/15）、応用構造（82/96）注：（ ）内の後の数字は全登録者数、前の数字は電子メール登録者数
- ・電子メールアドレス登録状況（11/30現在）：287名
- ・会員数の推移（11/30現在）：487名（新入会員14名、退会5名）

【1998年度（97/12～98/11）会計報告】

質疑の後、以下の会計報告が承認された。

費目	予算案	収入	備考
会費	1,500,000	1,592,000	延べ270人分
会誌販売	200,000	72,450	バックナンバーの売り上げ
銀行利息	0	1	銀行振込会費に対する利息
前年度繰越	656,056	656,056	
合計	2,356,056	2,320,507	

費目	予算案	支出	備考
会誌印刷代	1,500,000	1,144,500	地質学論集550部買い取り
郵送代	300,000	203,750	会誌・ニュース郵送
事務局運営	50,000	97,675	宛名ラベル、封筒・葉書・切手代など
アルバイト	100,000	95,000	事務局、会誌・ニュース発送手伝い
IASTG寄付金	150,000	150,000	滞納していた数年分送金
合計	2,100,000	1,690,925	

繰り越し金＝収入合計－支出合計＝629,582

【会則変更】

事務局の提案した変更箇所について審議・修正の後、以下のような会則変更が承認された。

・承認済事項

4. 4) 班：「地域・機関または研究分野に班を設けて自主的に活動することができる」→「会員は研究グループに加わって活動することができる」（12/96承認）

6. (会計・会費)：「会費は2,000円で前納とする」→「会費は4,000円（一般会員）および2,000円（学生・院生会員）で前納とする」（12/94承認）

付：「運営委員会の事務局は、静岡大学理学部地球科学教室におく。」→「運営委員会の事務局は、早稲田大学教育学部地球科学教室（庶務・行事）、千葉大学理学部地球科学教室（会員・会計・書籍）、および地質調査所（編集）におく。」（12/97承認）

・新規承認事項

4. 2) 運営委員会：「委員は毎年改選されるが、再選されてもよい。」→「運営委員（事務局も含む）の任期は2年とする。会長を除く運営委員については、再選されてもよい。」

編集委員会運営細則1)「編集委員会は5名程度で構成され」→「編集委員会は7名程度で構成され」

編集委員会運営細則3)「編集委員の任期は3年とする」→「編集委員の任期は2年とし、再任されてもよい」

【1999 年度運営体制】

以下の運営体制が承認された。

会長：狩野謙一

事務局：高木秀雄（庶務・行事）・金川久一（会員・会計・書籍）・木村克己（編集出版）・山岸 啓（ホームページ）（ ）内は事務局内の役割分担

拡大事務局：研究グループ世話人で構成，（ ）内は研究グループ内の役割分担

基礎構造地質：竹下 徹（代表）・石井和彦（庶務）・道林克禎（編集）

日本列島のテクトニクス：天野一男（代表）・木村克己（庶務）・久田健一郎（編集）

地殻探査および堆積盆テクトニクス：伊藤谷生（代表）・山北 聡（庶務・編集）

地震地質・ネオテクトニクス：嶋本利彦（代表）・

田中秀実（庶務）・佃 栄吉（編集）

地球および惑星テクトニクス：木村 学（代表）・

山路 敦（庶務・編集）

応用構造地質：永田秀尚（代表）・鈴木弘明（庶務）・林 愛明（編集）

編集委員会：木村克己（委員長）＋各研究グループ編集担当世話人

【1998 年度活動方針】

以下の活動方針が承認された。

- ・会誌 43 号の発刊
- ・会誌編集規約改正・会誌発行定期化
- ・夏の例会：第 2 回日韓構造地質合同例会@北海道様似町（8/19～23）
- ・秋の例会：地質学会夜間小集会@名古屋大学
- ・冬の例会・総会：未定

【1998 年度予算案】

質疑の後、以下の予算案が承認された。

収入費目	予算額	支出費目	予算額	備 考
会 費	1,500,000	会誌印刷代	1,200,000	会誌 43 号
会誌販売	100,000	郵送代	200,000	会誌・ニュース郵送
前年度繰越	629,582	事務局経費	50,000	文具等
その他	0	アルバイト	70,000	会誌・ニュース発送手伝い
合 計	2,229,582	日韓合同例会経費	400,000	要旨集印刷など
		IASTG 寄付	50,000	
		予備費	259,582	
		合 計	2,229,582	

【会誌『構造地質』の編集方針】

編集委員長の木村克己氏より、①会誌の定期刊行化を目指す、②役に立つ身近な雑誌かつ査読雑誌としての確立を目指す、③編集体制の刷新など、今後の編集方針に関して説明があった。①と②について質疑があったが、編集方針の基本は了承された。

【会長挨拶】

一般・若手会員の声をより反映した構造研の活動を訴えた、狩野会長の挨拶をもって総会は終了した。